

カナリア通信



第27号

～働き方について考え、気づく～

「カナリア通信」では、さまざまな考え方をもちた女性が、社会の中で遅く、それでいて女性らしく声を出して、人生を楽しみながら働く姿を表現していきます。

家庭での男性の役割

今回は2月14日付です。テーマは「ハラスメント(から身を守る)」です。

女性が社会に進出し活躍する時代になりました。フルタイムで働き、男性と同様に仕事をこなすため、女性の労働時間は格段に増えています。しかし、家庭に帰ると「家事や育児は妻の仕事」と考えている男性が、特に中高年の間で多く、疲れていても家事・育児をこなさなくてはならない女性が多いのも事実です。女性が働くことは日本の経済状況から考えても必要不可欠です。だからこそ家庭内の仕事も夫が協力しなくてはなりません。そこで今回は、男性の家庭での役割について、お茶の水女子大学教授の石井クンツ昌子さんの話をもとに考えてみました。

男性の家事・育児参加率 増えるも育児取得に壁

現在、男性の家事・育児の参加率は年々増加しています。20、30年前に比べると調査でも増えていることが見て取れます。しかし、世界レベルで見るとまだ低く、例えば米国では夫の家事参加率が26・5%に達しているのに対し、日本では10・5%、育児は17・6%に達していません。75%と比べてみると、まだまだといった感覚はぬぐえません。育児取得率も女性が82%に対し、男性はわずか3・2%と低く、男性の育児参加はまだ進んでいないという結果になっています。

20歳代や30歳代の男性は、確かに家事・育児に興味を持ち参加する人が多くなっています。イクメン(※1)という言葉ももたらされ、育児をする男性がクローズアップされています。しかし、実際、仕事をしている男性にとって、「子どもが生まれたから育児したい」という育児休業を取ろうとしても難しいのが現状です。育児休業、大企業では無難という話もよく聞きます。ですから、企業でイクボス(※2)を育成する必要もあります。

男性の家事・育児の参加率を上げるためには教育が必要です。男性も女性も外で働き、家事・育児もこなす、そのために、家

妻の心得

- 策士になれ
- 基準を下げる
- お互いの特性を生かせ
- ほめてアゲアゲ作戦

夫婦の心得

- 夫がやれば妻のストレスは軽減
- 子は親を見て育つ
- ともに働き、ともに家庭を支える

完璧な家事を目指すべからず

- ロボット掃除機も衣類乾燥機も利用
- お総菜は強い味方
- 部屋はピカピカでなくても死なない
- 洗濯物はたまたまなくてもいい
- できるところはお金で解決

伝統的・保守的な家事、育児観はやめよう！



石井クンツ昌子氏

家事・育児への参加は 教育、家庭環境が影響

いま、中学校・高校の技術・家庭科の授業は男女共修です。その子どもたちが社会に出たときには大きく変わるかもしれません。過去、男子は主に技術科、女子は家庭科を履修する時期がありました。また、家庭での教育も大切です。某一流大学の理工系男子学生に「男性の役割について聞いたところ、男性は外で働き女性は家事をする」といった伝統的・保守的な価値観を持っている人が多かったのです。

事・育児の方法論を学ぶことも大切ですが、教育しおこすお父さん、お母さん、男性も参加するのです。



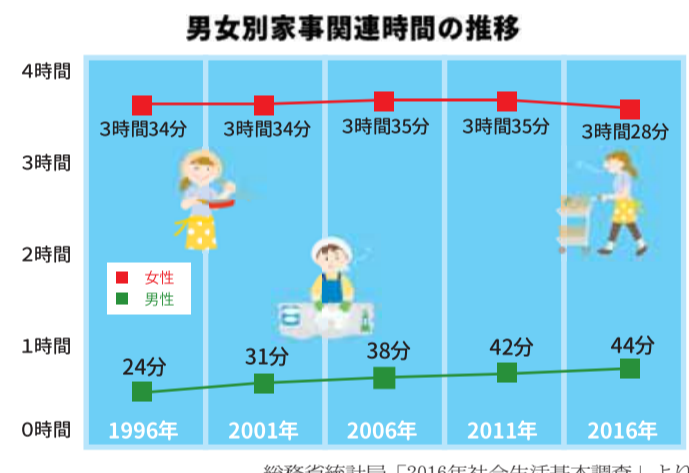
「男は家庭での男性の役割」

これは、家庭において「お母さんが専業主婦で家事全般の仕事をする」という環境を成長の過程で見つけてきた結果です。家庭環境が社会性の第一歩ですから、男の子にも家事・育児をし、教育するべきだと思います。一方、私自身も卒業生は、「女性も働き、家事や育児も男性と協働で行う」と考えている人が多くいます。これは、女性もしっかり学力を付け、自立させようという家庭環境で育ったからだと考えられます。家事・育児は、教育と家庭環境に起因するものが大きいと言えます。

性差の概念は不要 意識改革へ前進を

「男女ともに働き、家庭を支える」といった意識が社会全体で共有することが大切です。社会を構成する責が、性差という概念を取り払う必要が求められます。確かに男性は空間を使った作業が得意、女性はコミュニケーション能力に優れているといった特性がありますが、他はさほど比較すべき項目はあません。「女性は〇××」

お茶の水女子大学基幹研究院人間科学系教授 ジェンダー研究所所長

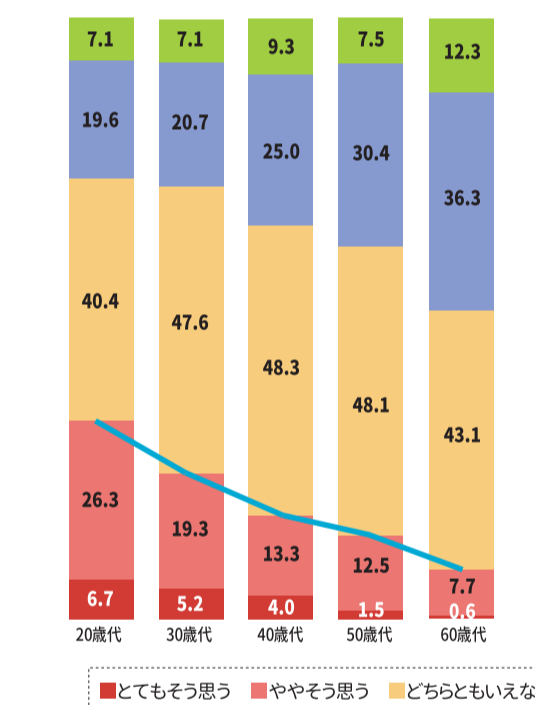


さて、実際に結婚して生活するとき、女性の基準を男性に求めるのは避けられません。男性は、ほめられるとやる気になります。そのことが少くくは口には合っても「美味い！」といひましよう。その際に、「また次もお願ひね」と付け加えることが大事です。女性

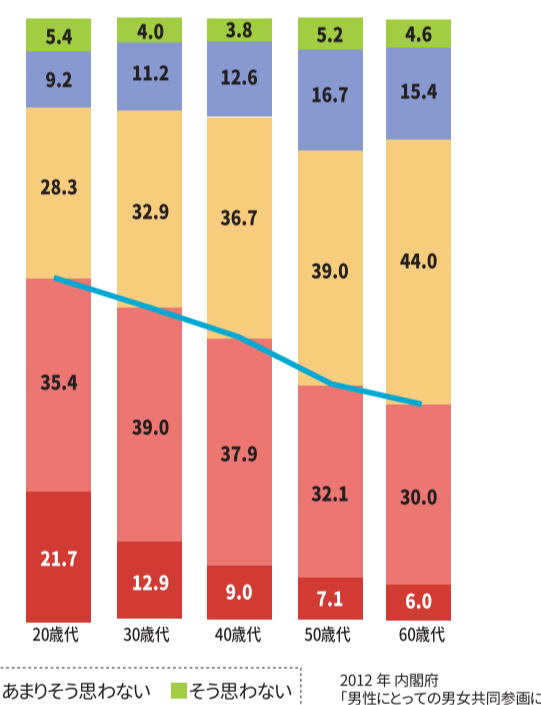
男性は寝て伸ばす 家事基準は低くてもいい

育児についても、夫が子どものおむつを交換したり、あやしてあげれば妻のストレスは軽減します。子どもをそういいうるの当たり前にする。この次世代の社会「ジェンダーフリー」を実践するのりになるの

男性「妻に、できるだけ稼いでもらいたい」



女性「自分も、できるだけ稼ぎたい」



※1 イクメン：子育てする男性を指す。積極的に子育てを楽しみ、自らも成長する男性をいう。
 ※2 イクボス：男性の部下等の育児参加に理解のある経営者や上司を指す。イクメンを職場で支援するために、部下の育児休業取得を促すなど、仕事と育児を両立しやすい環境の整備に努めるリーダーをイクボスと呼ぶ。

日本の社会では、妻の収入が夫より多くても家事の負担率が高いという結果が出ています。しかし、アメリカの家庭の多くは妻の収入が多ければ夫は家事の負担を多くしてはく、今後ますます女性が働く社会になっていくのですから、家庭内の役割分担についても意識を含めて改善していかなくてはならないですね。

妻の収入が高くても 家事負担が減るわけではない

白いたわしシリーズ 柔らかくて耐久性も抜群！

亀の子東子西尾商店

白くて丸い物体——実は東子(たわし)なのです。この東子、なんとと言っても「とにかく可愛い！」。その姿は、まるでペーグルやドーナツのようで、遠目から見ると東子と思ふ人は少ないのではないのでしょうか。

機能も100年以上の伝統を誇る「亀の子東子西尾商店」の製品とあってさすがです。厳選されたパーマ椰子やサイザル麻で作られているので耐久性が抜群、長く使い続けることができます。茶色っぽいのが椰子の実繊維を安全な過酸化水素水で脱色した「ホワイトパーマ」、白っぽいのがサイザル麻繊維を使用した「サイザル麻」。ホイ

トパーマはややかたいので野菜の泥汚れや皮むきはもちろん、野菜の繊維などがなかなか取れないおろし金にも最適です。また、「サイザル麻」の特長はなんといっても柔らかく手に吸い付く使用感。フライパンなどのちょっとした油汚れでも洗剤を使わずに落とせます。どちらも天然素材なので環境にやさしく洗剤の使用も少なく済むので経済的。中心に穴があいていることで乾きやすく衛生面でも安心。文句なしのキッチン必須アイテムです。男性でも女性でも使いやすいようにサイズは大小の2展開、用途に合わせて使い分けしてもいいかもしれません。キッチンに4つをぶら下げたお洒落でインスタ映えしそうです。



左からホワイトパーマ(大、小)、サイザル麻(大、小)

価格は「ホワイトパーマ」の大きが700円、小が400円、「サイザル麻」の大きが900円、小が600円(ともに税別)。箱入りで販売しているの、ちょっとしたプレゼントにも最適です。

◇『白いたわし「ホワイトパーマ・小」「サイザル麻・小」2点セット』を抽選で3名にプレゼント！

住所、氏名、電話番号を明記の上、編集部へファクスかウェブから応募下さい。締め切りは1月29日(月)です。

スマホ、携帯電話から応募できます！

仕事をする上で上司・同僚は重要

フィネガン外国法務弁護士事務所 東京オフィス アソシエイト弁護士(ワシントンDC・カリフォルニア州認可)



小林 千明さん

米国特許弁護士でワシントンDCに本拠地を置く弁護士事務所所属しています。入所して3年間、ワシントンDCオフィスで働いておりましたが、結婚に伴い、昨夏、東京オフィスに移りました。米国の法科大学院を卒業して初めて働き始めたのが現事務所です。

すぐに実績を出さないといけないプレッシャーを感じ、大きな不安を抱えていました。最初の2年間は、とにかくがむしゃらに働きました。現在は超が付くほど多忙

な日々が終わり、これまではなかった“振り返る余裕”ができました。気付いてみると、実務経験はもちろん、事務所の1弁護士として信頼される存在に、そして一緒に働いたチームは家族のように温かい存在となっていました。そのチームは私が日本へ帰国したい希望を尊重し、そのプロセスが上手にいくよう調整してくれました。働くだけが人生であればただ実績を積むことが大事かもしれませんが、しかし、想像できないタイミングでさまざまなイベントが起こります。そういう時に信頼のおける上司や同僚はとても重要です。それは米国においても日本においても同じことだと思います。

お問い合わせ
 株式会社日刊建設通信新聞社 カナリア通信編集部
 TEL03-3259-8711 FAX03-3259-8730
 意見・感想、プレゼントの応募は
 canaria@kensetsunews.comまでお寄せください。
 「カナリア通信」は、日刊建設通信新聞社の登録商標です。



webで公開中

カナリア通信29号(3月号)では、「女性の作業着自慢!大集合!!」と題して、企業の作業着を紹介します。カナリア通信編集部では、作業着をお持ちの企業を対象にアンケートを募集します。「私の会社は、〇〇が良い(悪い)」など、感想をお聞かせくだ

さい。今回は女性限定とします。締切は2月16日。アンケートにお答えいただける場合は、カナリア通信のホームページから質問票をダウンロードして下さい。掲載時に企業名を匿名にすることもできます。アドレスは、<https://www.kensetsunews.com/canaria>。

あなたの作業着自慢してください!

夏のリコチャレ2018

来月28日説明会 出展企業を募集

イベント開催に向け、2月28日午後3時から日本大学理工学部駿河台キャンパス1号館CSTホールで出展を考えている企業を対象に説明会を開催します。参加を希望する場合は、所定の用紙に記入の上、ファクス03-3259-8730またはメール(rikochalle@kensetsunews.com)にお送り下さい。所定の用紙はホームページ(<https://www.kensetsunews.com/rikochalle>)からダウンロードできます。

問い合わせは、電話03-3259-8711(田嶋、山口)まで。